

地方創生加速化交付金事業の検証結果(平成28年度)について

交付金対象事業の名称		事業概要					
インテリア産業の競争力強化とマイスターツーリズム(産業観光)推進事業		本市家具業界の競争力強化を図るとともに、観光情報・インテリア産業の発信拠点を兼ねた木工製作体験のできる施設を設置することにより、観光客等を市内の家具ショールームや木工工房へ誘導する。また、マイスターツーリズム事業を展開し、観光客もみならず住宅の購入を行うファミリー層に大川家具の技術力・優秀性を訴求するとともに、消費者の嗜好や購入動向を生産者側にフィードバックして製品開発やマーケティングにつなげる。 ※マイスターツーリズム事業・・・大川市独自の観光資源である職人の技をコンセプトに産業観光を推進する事業。観光客自らが「職人」を体験できる、体験型観光を中心とするもの。					
事業開始	事業終了						
平成28年4月	平成29年3月						
実施内容	大川市事業費 (うち交付金額)	重要業績評価指標(KPI)				大川市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会からの意見・提案	今後の方針
		指標	基準値	目標値 (H29年3月)	H28実績値		
≪インテリア産業強化支援事業≫ 実施主体:(一財)大川インテリア振興センターへの補助 新商品・新技術開発支援事業、需要開拓事業、産地PR事業、人材育成事業などのインテリア産業の底上げを図るもの	15,000,000 (15,000,000)	インテリア関連産業の生産高(億円)	366 (H25年度)	368	405 (H26年度)	・人材育成については、将来的にインターシップのような雇用に向けた取り組みも課題に含めてほしい。 ・後継者育成についての状況把握 ・「大川テラツツァ」については、交通手段の検討やブログ・Instagramを活用した若い世代向けのPRが必要である。また、来訪者等の問合せから得られた情報などを産地として共有すべきである。	大川インテリア振興センターでの一括受注及び販売体制を構築する必要があるため、地域商社的な役割を果たす組織になるよう、随時協議していく。
≪ブランド育成事業・インテリア人材育成事業≫ 実施主体:大川商工会議所への補助 製品開発・ブランドPR等のブランド育成に係る事業及び、大川の家具産業にかかわりを持つ人材を育てることを目的とした「大川家具職人塾」の開催	2,000,000 (2,000,000)						職人等の人材育成や後継者確保のあり方について、費用対効果も考えながら検討する必要がある。
≪大川家具展示会事業≫ 事業主体:(協)福岡・大川家具工業会への補助 産地大川で行われるジャパンインテリア総合展、夏の彩展、大川FF展及び新春展の開催	5,000,000 (5,000,000)						新たな取組みとして大学や専門学校生とコラボ事業等を展開している。
≪海外販路開拓調査研究事業≫ 事業主体:(協)福岡・大川家具工業会への補助 海外販売(輸出)を目標として、海外市場のニーズや現地調査を行い、海外バイヤーを工業会主催の展示会に招致した。	2,500,000 (2,500,000)						新たな海外バイヤーの発掘と招致を継続することで、海外の販路開拓に結びつける。H29年度においては中国(上海)での展示販売会を実施することとしている。
≪マイスターツーリズムを軸にした大川市観光計画作成≫ 大川市の観光の将来ビジョンである「大川市観光振興計画」と、そのアクションプランである「マイスターツーリズム戦略」を作成した。	4,989,600 (4,989,600)						大川市観光入込客数(人)
≪マイスターツーリズム推進事業≫ 実施主体:大川観光協会への補助 大川市の産業観光推進を図る事業として、モニターツアーの実施、PRグッズ製作、「大川テラツツァカフェ」プロデュース事業、観光イベント等を実施した。	12,000,000 (12,000,000)	昇開橋来訪観光入込客数(人)	56,000 (H26年度)	60,000	55,595	大川観光振興計画に基づき、H29年度より、本市の家具・インテリアの工房をはじめ、日本酒・酢・イ草などのモノづくりの現場を観光してもらう「オープンファクトリー」(仮称)に取り組む。	
≪インテリア産業・観光の情報発信拠点≫ 国指定重要文化財「筑後川昇開橋」の袂に、大川市の観光拠点施設として「大川市観光・インテリア情報ステーション 大川テラツツァ」を整備した。	58,862,000 (34,500,000)					H29年3月にオープンした「大川テラツツァ」のPRを強化し、筑後川昇開橋への誘客に取り組む。交通手段については、今後、来場者の情報を見ながら、検討を行う。	